

拔萃

◎獨逸鋼鐵シンヂケート(企業組合)及カルテル(製造者の同盟)に就て

The German Steel Syndicate & Cartelles: Iron & Coal Trade Review. July 7, 1916

K I 生

約十年前の事なり、フランス、ウオルカー氏は雑誌(Quarterly Journal of Economics)に獨逸鋼鐵シンヂケートに關する詳細なる研究記事を寄書せられたる事あり、時恰も彼の重大なるカルテルの形成せられてより尙未た一二年を経過せしに過ぎざりし頃なり、此のシンヂケートは將來世界の覇權を握らんとするに至りし獨國の莫大なる鋼鐵産出額か未だ發生せざりし以前に研究せられし論文なりしも然もウオルカー氏の論説は殆ど全部現在に於ても適用し得らるべく更に同氏の筆になれる歴史的記事に關しては恐らく從來書かれし此獨逸シンヂケートの歴史中最も簡單明瞭なるものなるへし、王立協會會員たるサー、ロバート、ハットフィールド氏はウオルカー氏の論文を複刷し之れを世上に發表せられしかは左に同氏の記事の大部分を再公せんとす、但し獨逸國工業の發達に伴ふて常に増加し來れる産出額の分配等に關する統計は大多數は之れを除けり。

石炭及鐵の二者は國家の工業を偉大にし富國強兵の基礎を形造るものなりとは千古不滅の眞理なるか獨逸國は實に此二者に於て特に傑出せるなり、兩者の工業界に於ける關係は今更喋々を要せざる所にして獨逸は石炭工業に於て世界の第三位にあり、鐵及ひ鋼に於ては合衆國に劣るのみ其隆

々たる。誠に盛んなりと云ふへし、鋼の産出額に於ては銑鐵に於けるよりも猶一層英國の上に位せり。即ち此鐵及石炭工業の隆盛なる事は極めて速かにして且つ確實に獨國々運隆盛の基を開けるものなり。翻つて鐵工業に對して其隆盛如何を見るに茲に主たる二つの自然の條件を擧げ得へし、即ち鑛石の供給及燃料の豊富如何にあり、獨逸國は幸にして此兩者に富裕なり、即ち鐵鑛産出額は唯亞米利加合衆國に一籌を輸するのみ、然してその最重要なる産地は所謂ミネット地方にして茲はローレイン (Lorraine) 及イルクセンブルヒ (Luxembourg) 内及ひ之等の境界を超へて佛蘭西及白耳義兩國に跨る。之れに次てはラインの右岸ジィグ (Sieg) ラーン (Lahn) 及ひヂル (Dill) の谷あり、其他の地方に於ける産出額は比較的小なりと雖も其最も注目しに價するはハノーヴァー (Hanover) 及ひブランズウィック公國 (Duchy of Brunswick) に存在せる一つと及ひ一箇所、即ちアツパー、シレシア地方にあるものとなり。石炭に就て一瞥せんか、獨逸國內には三大石炭産出地方あり、其の最大なるはドルトムント (又はルール) (Dortmund or Ruhr) 地方にして獨國全産出額全部の約五〇パーセントを占む、之れに次てアツパー、シレシアにして第三位にはサアール地方 (Saar) なりとす、レロイン (Lorraine) の炭層はミネット地方の鐵鑛床に最も近しと雖も未だ發展の域に達せず、燃料供給地として最も便なる地方はサアールなれとも該地方の石炭を用ふる時は鐵鑛の還元に適せず従つてミネットの鐵道はルール炭を以つて精鍊せらるゝなり、鑛石と石炭との交換は此の二地方に於て行はれ銑鐵の製造工業は従つて亦兩地に於て等分に行はる、ルール地方はミネット鑛の外ジィグ、ラーン及ひヂル諸地方の鐵鑛を多量に使用し他に又外國よりの輸入鑛をも使用せり、アツパー、シレシア地方に於ては鐵鑛地と石炭地とは相接近して存在すれとも該地の工業に對して鐵の供給寡少に過ぎ従つて大部分は輸入を仰ける有様なり、特に埃太利及匈加利の兩國よりするもの最も多し、ルールの石炭地方は其の産出の大なるのみならず加ふるに品質に於ても第一位にありて骸炭の製造に對し特に優秀なり、此の點に關しては

シレジア地方並ひにサル地方も遠く企及すへからざる所なりとす、ミネツト地方に於ける莫大なる鐵鑛は品位稍々低けれとも其の價格の低廉なる事は鐵分の貧弱なるを償ふて餘りあり、即ちミネツト鑛なるものは褐色赤鐵鑛にして鐵分三五乃至四〇パーセント及び磷分〇・〇四乃至一九六パーセントの成分なり、鑛床は甚だ深くして時には五〇米突(一六〇呎)に達す、其の磷分のパーセント高きかため從來鹽基性製鋼法の發見せらるゝ迄は價格低廉なりき、彼のジエグラントの鑛石及び赤色赤鐵鑛等は多量の滿俺分を含有しその品質も亦極めて善良なり

獨逸國は鐵鑛の大なる產出者たると同時に他方に於ては亦大なる輸入者且つ輸出者なり、その輸入者たるとは國內の鑛石と混合して精鍊するかために多量の原料を外國より輸入す、レーニシュ、ウエストフハリア地方(Rheinisch-Westphalien)に於ては世界のすへての地方より來る鑛石を使用するものにして該地方に於ける普通の混合割合はミネツト鑛三五乃至四〇パーセント、瑞典鑛三五乃至四〇パーセント、赤色赤鐵鑛一〇パーセント、其他の鑛石一〇パーセントなりとす、又シレジア地方に於ける模範的の混合割合は土地の鑛石二七パーセント、鐵屑(Cinder)二一パーセント、瑞典產鐵二三パーセント、匈牙利鑛石二五パーセントなり、斯く多量の外國鑛石か輸入せらるゝ他の理由は多くは熔鑛爐か國內の供給地より遠くして外國鑛か屢々却つて安價に引渡さるゝかためなり。

更に他方に於ける銑鐵の產出額を検するに(此數字は各毎月の雜誌アイオン、アノド、コール、トレード、レザユーにあり)ラインランド、ウエストフアリア地方か最大の額を示せり、ロレーイン、ルクセンブルヒ(之はミネツト地方の大部分を含有す)等之れに次く、兩者を併せて全國の七〇パーセント以上を產するもシレジア及びサル兩地方は僅かに各八パーセント及び七パーセントを產するに過ぎず、更に產出さるゝ鐵類の種類に就て云へば多數は鹽基性ベセマー鋼とせられ、鑄物銑之れに次ぎ、鍛鐵は第三位にあり、之れに反し酸性ベセマー鋼は今日獨逸にては殆ど認むる價值なしと云ふも不可な

し、鹽基性ベセマー鋼の大半はミネツト地方に於て製造せられ又ルール地方にも産出せらる、されと又サール地方の産なる者も亦少なからず、鑄物用銑鐵の大多數はルール及びミネツト方面に於て製造せられ殊にルール地方最も盛んなり、シレシア地方は他の諸點に於ては劣等の位置にあれとも鍛鐵の産出に關しては一頭地を抜けるものなり、何れにしても重要な事項は獨國鐵工業に於てはミネツト及びルール地方が最肝要なる地點たる事及び鹽基性ベセマー鋼の製造が最も盛んなる事なりとす、獨國に於ける鋼鐵工業は精製品及び原料共に重大なる位置を占むるなれとその仕上工場は散在せると熔鑛爐即ち製鐵工場の散在せる所とはその關係密接ならず、例へばバヅワリアに於ては大なる機械工場を有すれとも銑鐵の産額は極めて微々たり又ミネツト地方は已述の如く銑鐵の産出に於てはルール地方と激甚なる競争の位置に立てるもその製品の産額は之れと比するに足らずミネツト地方がルール精製品の製造を大規模に開始せるは極めて最近の事に屬しライン及びデル溪谷地方に産する銑鐵の僅かに三分の一かミネツト地方に於て加工せらるゝ有様なり反之しシレシアに於てはルール精製品の莫大なる産出額あり、上記之等の製造地方間には勿論獨逸市場を占領せんかため激烈なる競争行わるゝありて特に銑鐵に於ては一部分運搬費に依りて定めらるゝ自然の供給地方が生ずる傾向あり、此の事は特にシレシア及び西部工業地方の場合を見れば明らかなりとす、即ちシレシアは最東部諸地方の供給を支配し且つ該地方に於ては製品に於てのみ西部地方との競争なり、關稅のため奥太利及び露國方面に發展する事を妨げらるゝ西部の二大産地たるルール及びミネツト間には市場の明瞭なる區別なきか如く唯後者の場合には輸出の方に多く傾けるか如し、獨逸國は鐵鋼製品の大なる生産者たると同時に他方に於ては又大なる消費者なり然してその消費額は英國よりも大なる量を示したりしか米國に比しては勿論遙に下位にありたり、但人口に比例し

て云へは英國に於ける消費量は獨逸よりも大なりしなり然して全消費高は單に産出如何に關するのみならず輸出入の活動如何にも原因するは勿論にして獨逸は鋼鐵の輸入者たり又輸出者なるなり戰亂前に於ける主たる輸入は銑鐵、屑鐵、丸棒、及ひ葉板^{ブリーク}等にして重なる輸出品は銑鐵、半製品、梁類、ビーム、及ガーダー軌條鋼、鋼棒、丸棒、シート、バー、及ひ薄板、針金等なり、獨逸産の半製品の主なる市場は英國及ひ白耳義にして獨逸よりの軌條の輸出は之れに反して諸國に亘れり英國は亦ビーム及ひガーダーの重要な購買國の一つにして公の輸出統計に就ては行先地として指示せる所の國か最後の行先地又は購買地に非ざるを以て甚だ統計上不便を感ず、例へは和蘭及ひ白耳義への輸出は大部分實際上は英國に仕向け宛てられしものなり。

獨逸に於ける鐵工業は國際競争上恐怖すべきものなれとも疑もなく其の力は保護關稅の存在に負ふ所極めて大なり此稅のためにより國內市場を占領し且つその餘剩を世界の市場に投げ賣するを得べきに至らしめしなり、鐵商業のために設けられし保護政策は種々の鐵及鋼の同盟作業の存在と重大なる關係を有す、現今の保護政策の行わるゝ以前には鐵及鋼の産出額は消費量に後るゝ事甚しかりき、一千八百七十八年の至り此問題を調査する爲めに特別の調査委員會任命せられて鐵工業の保護の必要な事異議なく可決せられ更に此の決議に續て決議に於て勧められしよりも高き稅を課する法一千八百七十九年に發布せられてより一千九百六年三月一日關稅改正の到る迄左したる變更なくして行われたり、新法及舊法の目錄にある從價稅 (Duty ad Valorem) は銑鐵に對し約一五パーセント、軌條に二〇パーセント、板類に一六パーセント、棒類に九パーセントなり。

獨逸にては現在大なる鐵及鋼の企業家にして鋼の製造と鐵、鑛石、石炭、骸炭等の原料の産出とを併せ行ふもの數多あり、されと個人的企業はもはや獨逸國內にありて殆ど工業の一單位となる事殆ど之れなく現今の單位はカルテル(製造者の同盟)なり、然して商業及ひ經濟政策の最も重要な事件は

今日此同盟に依りて決定せらるゝなり、獨逸鐵工業の同盟は古來よりあるものにしてその時々、經濟組織に適する形式を種々とり來りしものにては古代と現代の形式の相違は單に現代のものか一層包括的色彩を帯ひたるものに依る外現今の鐵工業が大規模に行われ世界の市場を相手に活動せる點に關しても大なる相違あり、然して獨逸カルテルの始は葉板(Hin Plate)の同盟にありとは(一千八百六十二年)屢々傳へらるゝ所なれとも之か鐵商業に於ても第一とは云ふへからず軌條プール(Pool)一種の連合組織は已に五十年前に存在せり、されと之等の同盟か重要となり來れるは一千八百七十年以後の事に屬し一千八百七十年より一千八百八十年に至る十年間の始めに於て鐵工業は過度の發達を示したりしか之れに續いての不景況のため生産者連は産出の制限及價格保持のために一つの同盟を結ぶに至れり、然して最初のカルテルは貨物及契約に含まるべき地方に關しては甚だ狭少なるものなりしか之れに對し最初の重要なる例外となれるは獨逸ローリング、ミル(German Rolling Mills)の結合なり之は最初一千八百八十六年シレシアに起り遂に全國内に擴かりて獨國の鐵工業に多大の勢力を揮ひたりしか遂に一千八百九十三年新なる競争の起るに及びて解體せり、此の結合の頭目たるカロー(Carlo)はその失敗の原因を以てローリングに依る製品のカルテルは獨立して存在する能はざるに依ると宣言したり、實際原料品及び製品をも結合する必要ありしなり、されとその當時には原料即ち石炭及銑鐵の産出者等は従前の過剰産出のために陥りし逆境を未脱せざる有様にあり加ふるに彼等は技術の進歩に伴ふ生産費用の輕減のため常に前記諸原料の價格か低落するに對して恐れざるを得ざりき、反之ローリング、ミル、及び極製品の製造家等は比較的順境の地位にありて彼等は屢々その原料を極く安價に收むるを得たりしなり。

規模の大なる工場又は原料の産出と商業品製品の製造とを兼ねる工場に於ては純粹のローリング、ミルに比して自己の不利益を嘆きたりしかその當時ローリング、ミルに於ては石炭鑛石を取得し

64

又は熔鑛爐を設立する等は何等の利益あるを見ず従つてルール地方に於ては早き時代より已に顯著なりし彼の生産の各階級を結合する方法は此の時代には未だ多くの例を見ざりき。

工業一般の趨勢に於ての根本的變化は十九世紀の初頭にあり、ルール地方にては一千八百八十六年幾分成功せる銑鐵製造組合設立せられたれとも、そのカルテル、及シンデケートの確固たる基礎の成りしは一千八百九十年ヨークス、シンデケートの設立されし時代よりなり、當時鐵工業は微々として振はさる状態にあり、一千八百九十二年にルール及ひミネット地方の銑鐵製造者は互に結合するに至り更にその二年後にはジーゲランドに於て銑鐵カルテル組織せられたり、同年ジーゲランドの鑛石探掘者も之れに結合せり、ミネット地方にては鑛石は殆ど全く熔鑛爐のため作用せられたり、之等のすへてより更に一層重大なるは一千八百九十三年石炭シンデケートの形成なり、然して此の有力なる結合組織は爾來全工業界に君臨しかくして鐵工業界にも亦新時代の基礎作成せられ、原料を支配するものは大なる利益を有するに至れり、鑛業會社か必死の競争をなしてそのため鐵製造家は原料が豊富にして且つ安價なりとの確信を以て製品の需用に對し思惑賣買を行ひし時代は過ぎ去れり、又新らしき燃料のカルテルは專賣的支配の主義の上に立てられ、然して銑鐵カルテルも或る程度迄此の性質を帯ひたりしか、鐵類製造家等との連合は之等の原料生産者の進歩と歩調を合せて進むる能はざりき、獨逸ローリング、ミルのカルテルは一千八百九十三年解散したるも、然も之に代るべき總括的連合は生成せられざりき、軌條連合組織は引續き存續せられしも、ピーム連合組織は一千八百九十二年一度ひ解散したりしか程なく再起せり。

一千八百九十四年より一千八百九十五年に於て一般商業状態に顯著なる進歩あらはれ、鐵商業界に於ては特に然りとす、然して此の状態は一千九百年に至る迄も繼續し繁榮の時代か明らかに、斯業の成長に健全なる影響を及ぼせるなり、當時代に於ける最重要なる事實は半製品カルテルの成立な

り此の革新は新たなる技術上の状態特に鹽基性成に依る鋼の産出のために大なる鋼工場の成長したる結果なり之等の鋼工場の特長たる産物は主としてレール、ビーム、及半製品(インゴット、ピレフト、シートバー等其他)にして茲に所謂半製品とはローリング、ミルスの原料なり、大會社の工場連はローリング、ミルスが自己等の發達に伴はざるを見て自造の半製品を一層加工するを以てより安全にして且つ有益なりとなせり彼等は一般に燃料、鑛石及ひ銑鐵の自家供給を支配する混合的性質の工場なりき、之等の工場か半製品シンヂケート(Halbzeugver. band)を作り然して此連合かレール及ひビームの連合組織と結合されて即ち現今の鋼シンヂケートの先鋒となれり、されとその當初は唯値段に關する協定ありしのみにして半製品の販賣か連合せられしは幾分後年(一千八百九十九年)の事なり、此のカルテルは忽ち西部獨逸に於けるすへての大鋼鐵會社を包有するに至り然して此等の工場はローリング、ミルスにその原料を供給すると共に亦これとローリング、ミル製品の製造販賣に於て競争するに至り従つて此事はローリング、ミルの位置を危險ならしめたり、何んとなれば技術上彼等は大きな鋼鐵工場連の相手たるに足らされはなり、一千八百九十七年にルール、ミネット及ひジイゲランドの銑鐵製造業者間に包括的なる然も稍々複雑なる連合組織が行われたり。

一千八百九十五年より一千九百四年に至る期間に於てローリング、ミル製造品のために設立されし重なるカルテルは次の如し。

一千八百九十七年に鉄類及棒類(Heavy Sheets & Rods)

一千八百九十八年に線類及釘類(Wire, Nails)

一千九百二年に薄鉄類(Light Sheets)

然れどもローリング、ミルスは鋼棒(Steel Bars)を結合する事に失敗したりしかシレジアに於ては一千八百八十七年以來引續きてローリング、ミル製品は種々の形に於て完全に連合されたり、以上列舉

せるは此時代に於ける鋼工業にて存在するすへてのカルテルを含むには非らされとも鋼製品商業の組織に對する進歩に就ては最も重大なるもの共なり、種々の鋼製品に於けるカルテルの發達は消費者側に於て防禦的組織を引起したりしか此種の重要な組織は銑鐵に對するレーニシユ、ウエストフハリア購買組合にして一千九百二年に設立せられたり、更に緊要なるは一千九百二年に成立せる The Association for the Protection of the Interest of the Consumers of Semi-Products なり、此はローリング、ミルを専門とする四十二箇の企業を含み一千九百三年に於て五十六萬噸の注文をなせり此他多くの購買の連合ありて特に最近の危機に於て然りとす。

政府に對してなされたる公の報告に依れば鋼鐵シンデケート發生の理由は主として次の如し、鹽基性製鋼法の發見はミネソット地方の含有燐分過多なる鑛石の莫大なる鑛量を使用するを得しめ然して此目的に適合する幾多の大なる鋼工場を産出せり、此の事實は又更に既存の鋼鐵工場を近代化せしめ又その工場を擴大するに至らしめ遂には鋼の過度生産を來し結局鋼工場は産出制限のために互に連合するの必要を生せしめしなり、最初の代價協定の方法による連合は殆ど無効なりしため更に強力なる結合の必要を生したり。

斯くして成立せる種々の鋼製品の有力なるカルテルも同様多少の缺點ありたり、何となれば彼等は輸出貿易に於て支配力を缺き且つ市場の包括的監督を缺きたればなり、鋼鐵シンデケートは茲に於て鋼製品のすへての種類に對し一致行動を取るの目的を以て組織せられたるものにしてその第一歩はローリング、ミル製品、半製品、レール、及び建築用材料の有効なる連合を保つ事にありき、然して之等は容易に結合する事を得ざりしは畢竟等の大部分或は經濟上の近似を有する小數の大なる工場にて製造せられたればなり、第二步はローリング、ミル製品の内比較的輕き材料のカルテルにありき、されと之は割當ての決議に止まり且つその確立するためには外部のローリング、ミルス及びシ

イメンズ、マルチン式製鋼工場との協約を要したりき。

鋼鐵シンデケートの計畫か實際的の意味に於て始めて世上にあらはれしは一千九百二年の事に於て主動者はアドルフ、キルドルフ(半製品シンデケートの首腦)氏なり、一千九百三年二月に會議開かれ計畫を定むべき委員會選舉せられしか此計畫は同年秋承認を仰ぐべく決議したり、例の如く冗長なる會議行はれしか遂に種々の妥協或は讓歩によりて互に連合を重大とする以上すへての諸會社は結合されたりしか唯クルツプ、フェニックス、ウエストフリア鋼鐵會社は除けり、此の協約は一千九百四年三月一日批准せられし後間もなくクルツプも割當を増加されしを以て之れに加入せり、然れともフェニックスの加入する事の甚た必要なるを認めてより新設シンデケートは此目的を達すべく全力を以て商業上、及財政上の勢力を揮ひ特に石炭シンデケート及銀行にての勢力を及ぼしフェニックスを“Scab” Concern (同盟に加らざる職工の除外者を Scab) と云ふとして取扱ひたりしもフェニックスの重役會はその割當てか不充分なりとの意を以て加入する事を拒絶したり、一方シンデケートは直ちに成功し主として大銀行の勢力を通してフェニックスの株主等をして重役會の政策を動搖せしめしかは強力にして且過激なる此のシンデケートの行動は甚しき惡評を招きたり、されどフェニックスは比較的平穩にその地方を承認せしを以て當然の事理としてシンデケートの利益は著しく増大を來せり。

鋼工場連合組織は一千九百四年三月一日に有効に成立し一千九百七年六月三十日を以て終る期間有効とせり然して一千九百六年の十二月三十一日迄に組合中よりその繼續に就て書面に依る抗議なき場合には一千九百十二年六月三十日迄繼續すべく、此の時に於て再び更新する事とせり、今總體の利益に關して此の協約の主意は主として次の如し。

此の連合に屬する鋼工場所有者は Stahlwerks-Verband と稱する中央會社に或種の製品を販賣する

義務を負ふ契約をなす、次に彼等は此團體の契約によりて課せられたる義務を遂行すべく總會を開催する事及び契約中に定められし或支配者の指揮命令に従ふ事を同意す Stahl Werka-Verband 即ち中央會社は鋼工場所有者と規定の種類の製品をすへて購入し而して之を契約に定められたる約款に従つて再賣する事を約す、鋼工場所有者の集會は Advisory Council (Beirat) Commission と稱する一團體及び數種の從續的委員會を選擧す然して此のスタールウエルクスフェアバントは法定の會社の機關を有するものにして即ち監査會(Supper visory Council)取締役(Managing Directors)株主總會(General Assembly)を有す、又鋼工場所有者の會に於て各員は割當一萬施に就て一の投票權を有す今此會に於ける重なる權力は左の如し。

(一) Beirat 及 Commission の撰擧(二)新入會者の許可の權(三)割前を制限する事あるべき場合の決議(四)所有者かその工場を賣り又は賃貸する事を承認する事(五)罰金の決議(六)競争再現の場合に於ける契約の廢止(七)シンヂケートの販賣品目中にローリング、ミル製品を加ふべき時の用意以上七箇條なり

Beirat は鋼工場所有者の選舉したる委員により成立し、各所有者又は所有者の一團體は割當て五十萬施に就き一員を選む權利を有す然して Beirat の會員は總會員中より選舉せらるゝ事を要する規約にして今その重なる權能を見るに下の如し。

(一)連合中の組合員をして契約を守らしむる事(二)賣値及販賣條件に就て規約を設くる事(三)製品割當増加の決議(四)鋼工場所有者に仕拂ふべき代價の決議(五)豫備品の始末(六)罰則(七)支配人に競争者と協約を結ぶ事の權限を與ふる事等なり。

此のカルテルの第三條の機關は委員會にして八人の議員よりなり次の權限を所得するものなり

(一)貨物の種別(二)價格の増減(三)時々のスベシフイケーションに對する填補に就ての決議等にして之れに附屬する種々の委員會に就ては只運賃に就ての委員會のみなり。

販賣の會社は Stahlwerts Verband, Aktien Gesellschaft (株式會社) と稱しその目的は附屬法に示す所によれば當にすへての鐵及鋼製品の購買及販賣を含むのみならず鐵及鋼製品の貯藏及運搬に關するすへての企業の獲得及び運轉をも含有す然して此會社は登記されし株の四十萬マールの株式資本を有し總會の承諾なくしては他に讓渡す事を得ざるものなり然れども此資本は名義上の額に過ぎず何んとなれば會社は大規模の商業をなせとも結局鋼工場所有者の代理者たるに過ぎず賣買は之を現金を以てするものなればなり、會社に於ける取締役は會社の事務を統へ其他に種々の高等なる組織あり即ち會計、統計、租稅、運賃、法律上の職務、及諸官廳と折衝の任に當るべき一部局あり又製品各種の販賣の任に當るべき一部局あり。

契約中に含有さるゝ貨物は特に明記せらる即ち(一)鋼塊及分塊の產出(二)その購買及びローリングミル半製品及次に掲ぐる二種の製品の購買(三)半製品、軌條鋼及建築用鋼材の產出(四)棒類及厚板、薄板、管類、車輪、タイヤ、鑄鋼物、鍛鍊鋼材等の產出但し(三)及(四)に舉げし材料より作りしには非ずして直接に粗鋼より製造せしものとす(五)(三)に數へし貨物を鋼工場所有者より購入する事、之は鋼工場用に於て且その製品かカルテルに依りて販賣さるゝ場合の事とす。(二)及(三)に數へられし製品をA製品と云ひ(四)のものをB製品と呼ぶ。

Stahlwerts-Verbandは鋼工場所有者よりA製品類の販賣に提供せられしすへてを買取りて全體の利益のために之を販賣す、B製品に關しては之に反し只產出の額を定めたるのみ、其の販賣は各個の鋼工場所有者又は彼等か或他のカーテルにも屬し居る時はそのカーテルをしてなさしむ、此の鋼工場組織により販賣せられし製品の各工場主に對する割前は契約によりて豫め割當てられしインゴットの噸數に基く、之は Principal Allotment と稱せられて三つの Group Allotment に分る即ち(一)鋼塊及半製品(直接販賣用)(二)軌條用材(三)建築用材之れなり、此の Group Allotment は鋼塊と等量に割り當てらる然

70 して各工場がその Allotments に従つてその分け前にあつかる様注文を割當てる事は販賣會社の義務なり、此點に就ては種々の特別規定あり若しも Allotment が全體に於て増加するなれば各 Allotment は之れに比例して増す事を要す(未完)

◎鐵及鋼の腐蝕に就て(鐵及鋼の腐蝕に及ぼす炭素及茲に滿俺の影響)

(Engineering Vol. CI—No.2628)

臨 江 生

緒 言

鋼に滿俺の現存するは、其腐蝕を招き易き傾向大なるや否やに就ては、著しく世の注意を喚起したる多年の懸案にして、此疑問に對し Berthier (一八三八年刊行マレット氏の不列顛協會報告二六五頁參照) Siemens (一八七八年刊行鐵鋼協會雜誌第一號四二五頁參照) Shalus (一八八一年刊行同上雜誌第一號六六頁參照) 及近時に在りては Finkner (一八九七年刊行獨逸工業試驗所報告第一五卷二七七頁參照) 茲に其他の諸氏は既に肯定的の答を與へたり、一九〇五年 Oshman 氏(一九〇五年米國農務省刊行農業會報第二三九號參照) は米國に於ける鐵條網の腐蝕する原因を深く探究し、其大部分相當に腐蝕に耐ふる所以は、分析上、少量即ち〇・〇二%以下の滿俺を含有するに基つき、之に反し多く腐蝕したるものは、概して滿俺約〇・五%を含むものなることを發表し、學界の注意を惹きたりしか、是等の結果は以下に述ふる二理由に據り、滿俺と合金するとき鋼の腐蝕性を増す傾向ありと唱ふるは究極の證據と看做す能はざるか如し、即ち